

伊丹っ子ルールブック（小学校高学年編）

33の約束

～ならぬことは ならぬものです～



伊丹っ子ルールブック策定委員会

「ならぬことは ならぬものです」「いついっ

「ならぬことは ならぬものです」とは、「つけならぬとは、つけならぬ」といいます。

江戸時代の会津藩（今の福島県）では、子どもたち（6歳〜9歳）が地域ごとに分かれて『仕』という仲間をつくっていました。そこで教えられていた『仕の掟』という約束事の中に「ならぬことは ならぬものです」という言葉が書かれていました。

時代はかわり、世の中は大変豊かで便利になりました。

しかし、時代がかわっても、人を傷つけたり、約束をやぶったりすることはいけません。

いつの時代においても『ならぬことは ならぬものです』ね。

活用にあたって

- 「伊丹っ子ルールブック33の約束 ならぬことはならぬものです」は、伊丹っ子に守ってほしい33の事がらを約束としてまとめたものです。
- 学校の先生、おうちの方と相談して使いましょう。
- この本は3年間使います。大切に使いましょう。
- 各項目にある「書いてみよう」は、自分の考えや気持ち、決意などを書きとめたり、メモに使ったりしましょう。
- 最後のページの約束チェックシートを使って、どれだけ約束が守られているか確認しましょう。

33の約束

くならぬことは ならぬものですく

目次

- 1 進んであいさつをしよう！
- 2 感謝かんしゃの気持ちきもちを伝えよう！
- 3 自分が悪いわるいときは、素直すなおに謝あやまろう！
- 4 ものを大切にしよう！
- 5 時間じかんを守ろう！
- 6 身みだしなみを整えよう！
- 7 学校がっこうに必要なひつやうなものものは、持もっていかない！
- 8 言葉ことばづかいに気きをつけよう！
- 9 上手うまいな聞き方きかたを身みにつけよう！
- 10 忘れわすれものに気きをつけよう！
- 11 いじめいじめをしてはいけません！
- 12 そうじそうじをしっかりとしよう！
- 13 授業じゆぎに集中しゆんしゆしてしっかりと学習がくしゆしよう！
- 14 命いのちを大切にしよう！
- 15 「早寝わね・早起わきき・朝あさごはん」

- 16 家族の一員として家庭での仕事（役割）をしっかりと果たそう！
- 17 お金の使い方をよく考えよう！
- 18 用事のない午後5時以降の外出はひかえよう！
- 19 外出するときは、必ず「だれと」「どこに」「何をしに」「帰る時間」を家族に伝えよう！
- 20 大人の目の届かない場所では、遊ばないようにしよう！
- 21 テレビの見過ぎ、ゲームのし過ぎに気をつけよう！
- 22 携帯電話の使い方は、家族とよく話し合おう！
- 23 守ろう！ 交通ルール 気をつけよう！ 交通マナー
- 24 お年寄りや体の不自由な人に席をゆずろう！
- 25 ごみのポイ捨ては、やめよう！
- 26 公共の場では、マナーに気をつけよう！
- 27 次の人のためにドアを押さえていよう！
- 28 電車に乗るときは、降りる人を優先しよう！
- 29 図書室（館）でのマナーに気をつけよう！
- 30 地域の一員として自覚を持つとう！
- 31 自然を大切にしよう！
- 32 危険な遊びは、やめよう！
- 33 ならぬことは ならぬものです